



郡中学校通信 No20

学校教育目標 「 自ら行動、達成して感動 」
校 訓 「 自主・自律・連帯・創造 」

郡中ビレッジ 美・礼・時

チーム郡 思いを力に!

R5. 10. 16発行 文責 校長 松崎大樹

合唱コンクール終わる。たくさんの感動をありがとう。
合唱の素晴らしさ、歌の力を共有できた素敵な一日となりました。



生徒のみなさん、合唱コンクール本当にお疲れ様でした。そして、たくさんの感動をありがとう。みなさんは、合唱コンクール当日まで、クラスの一人一人と向き合い、この「合唱」という、とても難しい課題に真剣に取り組んできました。一つ一つの歌に思いを込めて、仲間と一緒に作り上げ、歌い上げるという「合唱」という取組に大きな価値があることを信じて・・・

その結果、生徒のみなさんは、本当に一生懸命歌い上げた者だけが感じるこのことのできる、あの瞬間の、かけがえのない「感動」を、クラスの仲間としっかりとつかんでくれたことと思っています。

確かに、最優秀賞や優秀賞を取れたクラス、取れなかったクラスと、一喜一憂がそれぞれのクラス、それぞれの胸の中にあったことは推測できます。しかし、全てのクラスにおいて、みなさんが合唱コンクール当日まであきらめず、クラスの仲間を信じ、支え合う中で、一日一日の練習に大切に取り組んできたからこそ、合唱コンクール当日を迎えられたことを忘れてはいけません。

また、その過程の中での、仲間との葛藤、励まし、頑張りが、とても大切で価値あるものであり、みなさんを人として成長させてくれたものと思っています。だからこそ、その過程を乗り越えて当日みなさんが披露してくれた合唱は、どのクラスもとても素晴らしいものになったのだと思います。

合唱コンクールで一生懸命に歌う姿、まさに、みなさん一人一人が主役でした。そして、合唱の素晴らしさ、歌の力を共有できた素敵な一日となりました。この校内合唱コンクールという学校行事を通して、これまで仲間と共にしっかりと頑張ってきたという揺るがないプライドをもって、今後の学校生活も、より充実したものに作り上げてください。「チーム郡 思いを力に!」校長より



学年	最優秀賞	優秀賞		指揮者賞		
1年生の部	1年4組	1年1組	1年3組	種本愛依来	高木稟心	佐藤恵太
2年生の部	2年5組	2年2組	2年4組	眞崎隆斗	安藤花乃	夏目歩佳
3年生の部	3年1組	3年3組	3年4組	田中航太	金子陽葵	福吉爽生

終わりの言葉 文化副委員長 夏目 歩佳

まずは、生徒の皆さん、合唱コンクールお疲れ様でした。今日までたくさんの時間をかけて、自分たちの目標に向かって突き進んできたことと思います。その成果を全て出し切ることができましたか？ 私は、緊張感を持って歌い、みなさんの合唱を真剣に聴くことができ、とても良い合唱コンクールだったと思います。

また、本気で努力したクラスは、良い結果や、結果より大切な思い出を得ることができたはず。1・2年生は先輩の姿を学び、3年生は中学校生活最後の行事を最高に良い状態で締めくくることができたことと思います。合唱コンクールは、競い合い、高め合い、最終的には認め合うこと。さらには、学級の団結、音楽の楽しさを感じるなど様々な目的がある行事だったと思います。自分は合唱コンクールで何をすることができたか、是非、考えてみてください。

10月3日・6日 令和5年度大村市中学校総合体育大会駅伝競走大会開催 郡中男子第4位、郡中女子第1位 という見事な結果でした！

さわやかな秋空のもと、トランスコスモススタジアム長崎及びジョギングコースを会場に、令和5年度大村市中学校総合体育大会駅伝競走大会が南島原市・雲仙市の3市共催で開催されました。女子の部は、大会運営の不備により3日後に再レースになるというアクシデントにも見舞われましたが、選手達は冷静にその状況を受け止め、万全の体制でレースに臨みました。

本大会は、男子は21チーム参加のもと6区間全て3kmのトータル18km、女子は20チーム参加のもと5区間全て2kmのトータル10kmで行われ、本校からは、男子9名、女子8名がエントリーされており、このメンバーの中から当日は、郡中学校を代表して男子6名、女子5名が本番のレースを走り、自分自身とチームの限界に挑戦しました。

結果は、郡中男子が大村市第4位、郡中女子が大村市第1位となり県大会出場権を獲得するという見事な成績でした。また、女子の3区の1年内海早智さん、4区の3年鈴木美貴さんは区間賞を樹立するという素晴らしい走りて上位入賞に花を添えてくれました。

駅伝のランナーとして、レースに対する大きなプレッシャーをはねのける中、チーム全員の思いや願い、そして自分の責任をしっかりと受け止めて必死に走り抜く姿に、大きな感動をたくさんもらいました！ 選手のみなさん、サポート選手のみなさん、本場にお疲れ様でした！

郡中男子 角 光稀→芳川幸聖→峠 晃→兵働 陸→河野香冴→三浦 怜 1:03:57 第4位

郡中女子 中村心美→船越真央→内海早智→鈴木美貴→船越理央 35:48 第1位



令和5年. 10. 17 令和5年度 第2回前項平和学習

「松原の救護列車を伝える会」による朗読劇を開催！ 世界各地で戦火が起きている今だからこそ、 平和について考えることが大切なのです。



20世紀、人類は2度にわたる世界大戦を経験しました。その経験と反省から平和のないところに人権は存在しない。また、人権のないところに平和は存在しないということを学びました。そこから「21世紀は人権の世紀」という世界共通の合言葉が生まれ、人権尊重と平和の実現が世界中の願いとなっているのです。

しかし、現実はどうでしょうか。ウクライナへのロシアの軍事侵攻が現在も続く中、パレスチナ自治区ガザ地区を実効支配するイスラム組織ハマスと隣接するイスラエルとの間でも戦争状態に陥りました。このように世界各地で戦火が起きる中、民間人を含めたたくさんの尊い命が今この瞬間にも奪われているのです。

このような現在の世界情勢を考えると、平和の尊さがますます重要であることが明らかです。私たちは幸運にも平和な環境で育ったため、日常生活が安全で平和なものであることが当たり前のように感じるがありますが、それは決して当たり前ではありません。また、世界中で戦争や紛争、緊張が続いている今の状況下においては、これからの平和を守り、維持していくためには、中学生であるみなさんの世代にも、大きな役割があると考えます。

是非、今回開催される「松原の救護列車を伝える会」による朗読劇を通して、この郡中学校区においても平和ではない時代があったこと、そして、その中でも尊い命を救おうと必死に頑張っていた地域の方々があったという事実を深く認識すると共に、今自分にできる「平和」について、真剣に考えてもらいたいと思います。

暴力や差別、不正義を許さない正しい知識と強い意志、そして、異なる文化や信念に対する理解を深め、対話を通じて問題を解決できるスキルを身につける中で、世界が平和であり、誰もが尊重される社会を築くため、未来のリーダーにみなさんがなってくれることを心より願っています。



イスラエルによるガザ地区への空爆後、立ち上る煙
Getty Imagesより



「松原の救護列車を伝える会」のみなさん



朗読劇の一場面

「松原の救護列車を伝える会」 による朗読劇

1 日程 令和5年10月17日(火)

14:45~15:35

2 会場 郡中学校体育館

3 目的

- 平和の尊さを理解し、平和を守ろうとする意識・意欲・態度を育てる。
- 自分が住んでいる地域(校区内)であったことを知り、地域への関心を深める。